

7月6日、IAEAのグロッシー事務局長に、保障措置と核セキュリティ上、重要な施設である再処理工場とウラン濃縮工場、これから対象施設となり、IAEAが査察機器などを設置していくMOX燃料工場をご視察いただきました。

## 【ご視察の様子】

現場では、再処理工場中央制御室の運転員の役割や施設の安全対策、ウラン濃縮工場の生産工程、MOX燃料工場の工事の進捗状況などについてご説明させていただきました。

また、再処理工場内にあるIAEAの保障措置分析施設「オンサイトラボ」を確認されたり、IAEA現地査察官から報告を受けていました。



意見交換



再処理工場中央制御室



再処理工場内にあるIAEAの現地査察官室



MOX燃料工場の工事の進捗状況説明

## 【グロッシー事務局長のご発言】

- ・六ヶ所原子燃料サイクル施設は、様々な面において、世界の注目を集めています。
- ・保障措置活動では、査察される側が査察に対して協力的であることが最善だと考えており、日本原燃が我々の活動に対して協力的であることに大変感謝しています。
- ・お互いの信頼醸成が重要であり、IAEAに対して要望などあれば言って欲しい。



グロッシー事務局長(中央)、池辺会長(右)

引き続き、IAEAが行う厳格な保障措置活動に協力するとともに、核セキュリティの不断の向上に努めることで、当社事業が原子力の平和利用に徹していることを世界に示し、原子燃料サイクルの確立に取り組んでまいります。